

(別添3)

**【輪島市】**  
**校務DX計画**

**【校務系・学習系ネットワークの統合】**

教職員一人一人の事情に合わせた多様な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、学校・市情報管理担当・関係業者と連携を図りながら、場所を問わず校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備に向けた検討を進めていく。

**【クラウドツールの活用】**

「教職員と保護者間の連絡」「教職員と児童生徒間の連絡」「学校内の連絡」に、Google Workspace、保護者連絡ツール、チャットツールを用いている。児童生徒の欠席等連絡、学校から保護者へのお便り配信、児童生徒への宿題配信、職員間の情報共有等において、クラウドツールを用いたことで、業務の効率化、時間の有効活用、ペーパーレス化につながっている。しかしながら、学校間において活用の格差が見られる点が課題となっている。活用が進んでいない学校の現状と課題を把握するとともに、引き続き好事例や先進的事例に関する情報を提供し、校務DXが推進されるよう継続して支援していく。

**【FAXでのやり取り・押印の見直し】**

一部の学校において、自校以外の学校や事業者等とのやり取りにFAXを使用している。また、全ての学校において、押印が必要な書類も多数存在している状況である。緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、事業者等とのやり取りにおいてFAX対応しか行えない等の特別な場合を除き、FAXの原則廃止に向けた継続的な働きかけを行う。押印についても、内規の改正を行う等、ルールの見直しを図る。

**【次世代の校務システムの導入に向けた検討】**

現在、成績管理・保健・学籍情報などを有している校務支援システムはオンプレミス型であり、今後、教育の質の向上と教職員の働き方改革や災害時の継続性を高めるためにクラウド化の必要性が高まっている。校務支援システムの次期更新時において、クラウド化への移行について検討する。